

2008-03-19(水)

■CO2 まき散らし批判

新参職員<サワダ>のグリコン日記

何日か前の新聞に、

<「環境大国」ドイツの環境相が、

政府専用機の無駄遣いをして二酸化炭素をまき散らしていると批判を浴びている>

とありました。

休暇先のスペインのマジョルカ島から閣議出席のために政府専用機を使ってベルリンへ飛行。

会議を終え、その日のうちにまた専用機で休暇先に戻った。

送り迎えのために専用機はドイツと島の間を2往復。飛行距離は約6400キロで

約45トンのCO2を環境相のためにだけ排出した計算になる。

45トン！

全国地球温暖化防止活動推進センターのHPによれば一人あたりの家庭からの

二酸化炭素排出量は2.2トン(2005年)ということなので、その量の多さと、

環境相という公的な立場と、ビックリ×ビックリです。

プライベートジェットなんていうのも、CO2排出の観点からみれば顰蹙ものでしょうか？

私には縁のないもので、そんな悩みは不要かとも思いますが。